

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	富山赤十字病院における耐糖能異常合併妊娠診療の現状と動向
受付番号	325
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 健診副部長、総合内科（母性内科）医師 仙田聡子
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 富山赤十字病院産婦人科に通院中の妊婦で、産科または内科で耐糖能異常合併妊娠と診断された妊婦。</p> <p><b>【研究の目的】</b> 晩婚・晩産化による高齢妊娠出産や生活習慣の変更による肥満の増加により、耐糖能異常合併妊娠が増加しています。また、妊娠中の耐糖能異常は、将来の糖尿病発症リスクを増加することが知られています。 2013年より糖尿病・内分泌・栄養内科ではGDM（妊娠糖尿病）チームを立ち上げ、産科・小児科と合同で耐糖能異常合併妊娠の診療に力を入れてきました。2013年からの耐糖能異常合併妊娠に対する診療を分析し、今後の課題を明らかにして改善することで、妊娠転帰の改善と産後の将来の糖尿病発症予防につながることを目的とします。</p> <p><b>【研究方法】</b> 通常診療内で行った検査データで解析を行います。 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2022年2月28日から2024年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 臨床系学会および研究会に発表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	<p>主要評価項目：周産期合併症率、新生児合併症率、母体予後（糖代謝異常）</p> <p>副次評価項目：妊婦の特徴（年齢、BMI、家族歴、75gOGTT陽性率、インスリン使用の有無、HbA1c、GA、妊娠中の体重増加）、産後75gOGTT受診率・陽性率</p>
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 健診副部長、総合内科（母性内科）医師 仙田聡子
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>担 当 者 富山赤十字病院 健診部 仙田聡子 電 話 番 号 076-433-2222 受 付 時 間 平日 14時～16時</p>